

12月4日 イザヤ書 55章 1～11節 今日の説教から

説教題：「望みを成し遂げ、必ず使命を果たす方」

今日の聖書箇所では、「恵み」と「赦し」という、洗礼や悔い改めと切っても切り離せない事が記されています。最初の部分では、渴く者・飢える者は「お金を持っていなくても来て飲み食いしなさい」と書かれています。普通に考えれば、お金を支払わずにパンを食べることも、ぶどう酒や乳を飲むことも出来ません。物々交換・等価交換というものが、私たちが生きる資本主義社会の原則であり、しかし逆に私たちはそれほどの価値のないものにお金や時間をかけてしまう、矛盾した生き物でもあります。それは例えば地位や名誉であったり、言ってしまうと「お金」というものもそこに含まれるのかもしれませんが。何かと交換するための道具であるお金を何よりも大切に思う、その額面以上に価値を感じてしまう、そのような状況に陥った時、私たちはそれらのものを何よりも高く置いている、一種の「崇拜」を行ってしまっているのです。

そして今日の後半部分、6節以降では「主に立ち返る」という、悔い改めの必要性が語られています。今まで大切にしていたもの、地位や名声、お金などの「当たり前大切にしているもの」ではなく、神様こそが私たちが最も大切にすべき存在であることを自覚することが求められています。

そして大事なことは、このことを「神様が近くにいる時に神様を求めなさい」と勧められているということです。私たちはついつい今ではなく、いつか都合の良い時に、と考えてしまいます。今は忙しいから、予定があるから、他の人との約束があるから、と神様のことが「最優先」ではなくなってしまうことがあります。しかし、それではいけないのです。今でなければいけない、今を過ぎれば「神様が見えなくなる」「近くにいないくなる」可能性がある、6節では「見出しうるうちに」「近くにいますうちに」と記されているのです。いえ、神様がいなくなってしまうわけではありません。イエス様の名前が「インマヌエル・神が我らと共におられる」と呼ばれる、というイザヤ書の預言に示されているように、神様は私たちと共にいるのです。ただ、私たちのほうが「神様のことを見なくなる」「神様から遠ざかってしまう」からこそ、そうなる前に神様の立ち返るように勧められているのです。

いま、私たちはアドヴェントの日々の中でクリスマスがもうすぐ来るといふ喜びの時を味わっています。しかしその時も、私たちの礼拝には十字架が共にあります。クリスマスはただただ喜ばしいだけの日ではなく、十字架によって処刑されることが運命づけられたイエス様の人生の始まりの日でもあります。私たちは十字架を仰ぐたびに、そこまでしなければいけないほどに私たち人間の罪が重たいことを、そしてその罪を赦してくれたほどに神様の愛が大きなことを、その両方を私たちは自覚して、その十字架をイエス様と共に背負って生きていくのです。それが私たちに与えられた、キリスト者としての新しい命、「望みを成し遂げ、必ず使命を果たす方」であるイエス様と共に歩む人生なのです。

新しく与えられた信仰に満たされた人生に感謝を捧げつつ、この一週間で、クリスマスまでの日々を共に歩んでいきましょう。

今日の説教箇所：イザヤ書 55 章 1～11 節

- 1: 渇きを覚えている者は皆、水のところに来るがよい。銀を持たない者も来るがよい。穀物を求めて、食べよ。来て、銀を払うことなく穀物を求め 価を払うことなく、ぶどう酒と乳を得よ。なぜ、糧にならぬもののために銀を量って払い 飢えを満たさぬもののために労するのか。わたしに聞き従えば 良いものを食べることができる。あなたたちの魂はその豊かさを楽しむであろう。耳を傾けて聞き、わたしのもとに来るがよい。聞き従って、魂に命を得よ。わたしはあなたたちとどこしえの契約を結ぶ。ダビデに約束した真実の慈しみのゆえに。見よ かつてわたしは彼を立てて諸国民への証人とし 諸国民の指導者、統治者とした。今、あなたは知らなかった国に呼びかける。あなたを知らなかった国は あなたのもとに馳せ参じるであろう。あなたの神である主 あなたに輝きを与えられる イスラエルの聖なる神のゆえに。
- 6: 主を尋ね求めよ、見いだしうるときに。呼び求めよ、近くにいますうちに。神に逆らう者はその道を離れ 悪を行う者はそのたくらみを捨てよ。主に立ち帰るならば、主は憐れんでくださる。わたしたちの神に立ち帰るならば 豊かに赦してくださる。わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり わたしの道はあなたたちの道と異なると主は言われる。天が地を高く超えているように わたしの道は、あなたたちの道を わたしの思いは あなたたちの思いを、高く超えている。雨も雪も、ひとたび天から降れば むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ 種蒔く人には種を与え 食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も むなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ わたしが与えた使命を必ず果たす。